

オオタバコガ情報第4号（ダイズ、キャベツ、キク等）

令和6年8月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ほ場での発生状況に注意し、発生を確認したら防除しましょう！

1 発生状況

8月2日発表のオオタバコガ情報第3号で、フェロモントラップにおけるオオタバコガ誘殺数が一部地域で引き続き多いと発表しましたが、現在も多い状況が続いています。

フェロモントラップにおける本種の総誘殺数（豊川市と稲沢市は7月第3半旬から8月第2半旬まで。豊橋市は7月第2半旬から8月第1半旬まで。）は、過去10年間と比較して、豊川市と豊橋市が最も多く、稲沢市が3番目に多い状況です（図1）。

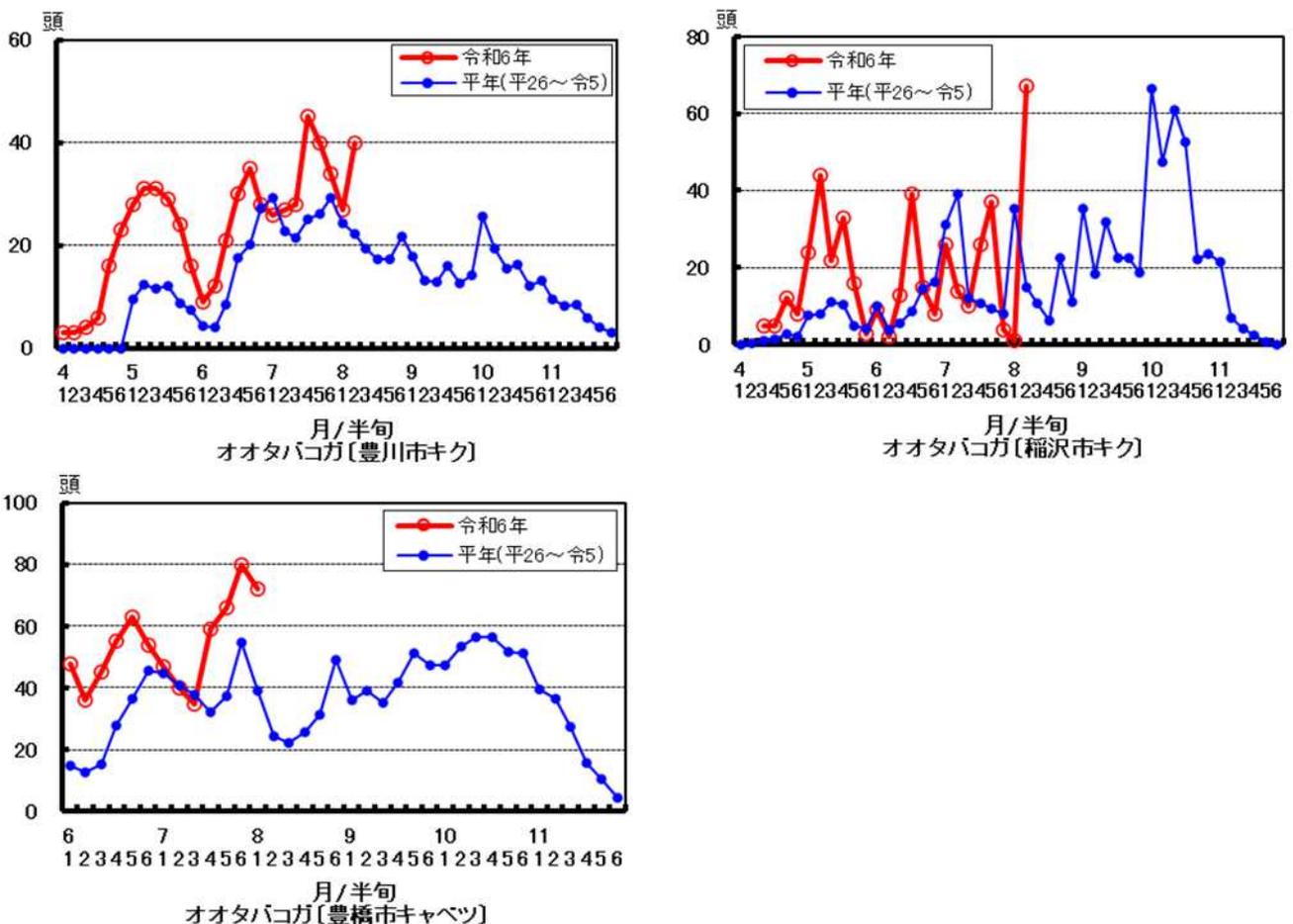


図1 フェロモントラップにおける誘殺状況

2 今後の予測

8月15日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれています。本種の増殖に適する天候が予想されるため、発生量が引き続き増加する可能性があります。

3 本種による被害と防除対策

ダイズにおける本種による被害は、ハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害せず白変葉にならないため、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難です。また、直接、莢を加害する（図2）ことから、被害が大きくなります。**ダイズでは産卵が多い開花期までの防除が重要です。**

茎、花蕾、果実及びキャベツ等の結球部に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が著しく低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除を徹底しましょう。

キクでは着蕾後に被害を受けると商品価値が著しく低下するため（図3）、**着蕾以降は特に注意しましょう。**

被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。

施設栽培では、開口部に防虫ネットを張り成虫の侵入を防ぎましょう。

農薬については、8月2日発表の「オオタバコガ情報第3号（ダイズ、キャベツ、キク等）」を参考に、発生を確認したら防除しましょう。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。



図2 ダイズの莢を食害する老齢幼虫



図3 キクの花蕾を加害する幼虫